

1/17

大谷選手寄贈グローブ お披露目会

町内の小学校に、大リーグ「ロサンゼルス・ドジャース」の大谷翔平選手から野球グローブが寄贈されました。

梅の里小学校では1月17日にお披露目会が行われ、先生が同封された大谷選手からの手紙を、「(前略) このグローブが私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。(中略) 野球しようぜ!」と読み上げると、児童たちは目を輝かせていました。

寄贈されたグローブは3つ(右利き用2つ・左利き用1つ)で、小指の部分には大谷選手のサインがプリントされており、児童たちは興味津々な様子でした。

グローブを手にした児童は「軽くて使いやすそうでした。たくさんキャッチボールをしたいです」と話していました。

1/20
・21

文化財防ぎょ訓練

町内の貴重な文化財を火災から守ることと、防火意識の高揚を目的に文化財防ぎょ訓練が南前川区・天徳寺区で実施されました。

このうち南前川区の訓練は「地蔵堂」にて火災が発生し、自衛消防隊にて町の有形文化財である「地蔵菩薩坐像」の搬出を行ったものの、同隊員1名が建物内に取り残されたという想定で行われました。参加した自衛消防隊および三方消防署の隊員は文化財の搬出や要救助者の救出、消火活動を手際よく行い、それぞれの手順を確認していました。

出席した渡辺町長は「この訓練は、地域の宝である文化財を大切に守り、将来に受け継いでいくという大切な使命を担っています。本日は有意義な訓練となったと思います」と挨拶しました。



1/26

鳥羽小学校 ご当地バーガー試食会

鳥羽小学校6年生の児童(17人)が、町内の特産品を使ったご当地バーガーを開発し、その試食会が行われました。この取り組みは、ご当地バーガーの開発を通して、地元食材への理解やSDGsへの取り組みについて考えることを目的として行われたもので、昨年9月から取り組んできました。

試食会には食材の生産者やメニュー開発に協力してくれた地元の飲食店関係者らが参加し、児童たちが作ったハンバーガーの味に満足気な様子でした。

試食会を終えた児童は、「みんなで協力して作ったハンバーガーはとても美味しかった。ご当地バーガーの開発を通して地元食材について深く知れてよかった」と話していました。



▲開発した5種類のハンバーガー(左から)

- ・岩屋梨と若狭町産シャインマスカット入りバーガー
- ・フナのすり身メンチカツ入りバーガー
- ・鹿肉入りバーガー
- ・山内かぶらのコロッケ入りバーガー
- ・若狭牛パティ入りバーガー

1/29

上中中学校 能登半島地震の被災地へ寄付

上中中学校生徒会が、募金活動で集めた震災支援金を日本赤十字社若狭町分区長の渡辺町長へ手渡しました。

募金活動は、同校生徒会が能登半島地震の被災者を支援するため自発的に取り組んだもので、生徒と教職員からの募金で集まった71,488円を支援金として寄付しました。

渡辺町長は「今回のように上中中学生在が頑張っていることは、現地の力になる。今後も力を貸して欲しい」と、募金活動への感謝を述べました。

また、贈呈式に訪れた同校生徒会ボランティア委員長の石倉大永さんは、「石川県七尾市は、自分もサッカーで訪れた場所でもあるので頑張ってもらいたい」と話してくれました。

この支援金は日本赤十字社福井県支部を通じて、石川県などの被災地へ送られます。



1/29

令和5年度白干梅品評会表彰式

令和5年度白干梅品評会の表彰式が行われ、最高賞である農林水産省農産局長賞には松村光洋さん（鳥浜）が選ばれました。

白干梅は、青梅を塩で漬け込み天日干した一次加工品で、当品評会は福井梅の品質向上と生産者の意欲向上を図ろうと、福井ウメ振興協議会が毎年開催しているものです。

表彰式では、同協議会長を務める渡辺町長らから入賞者に表彰状などが手渡されました。



令和5年度（第27回）白干梅品評会 入賞者

表彰の種類	品種名	規格	氏名
農林水産省 農産局長賞	紅サシ	2L	松村 光洋（鳥浜）
福井県知事賞	紅サシ	3L	（有）山田農園（田立）
福井ウメ振興協議会長賞	紅サシ	3L	坂本 豊（北庄）
福井県農業協同組合長賞	福太夫	3L	深川 延治（梅ヶ原）
福梅社長賞	新平太夫	3L	熊谷 守（伊良積）
福井新聞社賞	紅サシ	3L	中西 孝之（田井野）
日本農業新聞会長賞	紅サシ	L	川島 保（南越前町）

（敬称略）

1/29
~ 2/12

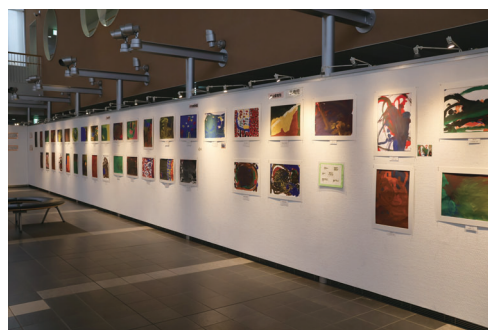
町立保育所（園）幼児画展・修了記念展

若狭町立の保育所（園）に通う子どもたちの絵画展が、1月29日から2月12日にかけてパレア若狭で開催されました。

同展には幼児画展（3歳・4歳）と修了記念展（5歳）合わせて約240点の絵が展覧され、ギャラリーは子どもたちの華やかで独創的な絵で彩られました。

絵と併せて幼児たちが作画に取り組む様子や、保育所（園）で遊ぶ様子などが写真で展示され、会場はたくさんの人で賑わっていました。

来場者は「子どもたちが自由な発想力で描いた絵は、見ていてとてもおもしろい」と興味深そうに話していました。



1/31

高槻市・益田市 姉妹都市サミット

若狭町と姉妹都市関係にある高槻市（大阪府）、益田市（島根県）が交流し意見交換をする「姉妹都市サミット」が町内で開催されました。

3市町の首長および職員の約20人が参加し、DXの推進や観光誘客の取り組みなどについて、意見交換が行われました。

若狭町はスマートエリア開発やペーパーレス化などについて紹介し、高槻市と益田市からはDX推進のための公的手続きのオンライン化、DX人材の育成、窓口のワンストップ化などの取り組みについて紹介がありました。

渡辺町長は「DXの推進は住民の便利で安心安全な暮らしや職員の業務効率改善に繋がる。それぞれの市の取り組みを参考にしながら、連携を深めていきたい」と話していました。



2/2

味覚体験授業

みそみ小学校で味覚体験授業が行われました。この取り組みは、日本の食文化への関心と理解を深め普及と継承につなげることを目的に行われたもので、町内の宿泊施設の店主で料理人の岡勝之さんが講師を務めました。

参加した5年生の児童16名は、基本味（甘味・塩味・酸味・苦味・旨味）について学んだ後、鰹節や昆布など4種類の出汁を飲み比べ、味や香りの違いを確かめました。その後、実際に出汁を取り、鶏肉、玉ねぎ、溶き卵などを入れて親子丼を作って試食しました。

授業を終えた児童は、「出汁の大切さを感じることができたので、両親にも伝えたい」と話していました。



Vol.6

自分の食べたいものを
最期まで食べられるように

「体重計のってる？」

～あなたの体はあなたが食べたもので出来ている～
(管理栄養士 永木繁美さん)

お腹が空かないし、
朝昼兼用でいいか。

食事の準備が
面倒になってきた。

この歳で肉や魚は
要らんやろ。

昼はまんじゅうで済ました。



死ぬまで絶えず生まれ変わり続ける細胞にとって、1回の食事は大事な栄養補給になります。人は栄養不足になると、自分の身をけずってでも、エネルギーを生み出します。体重減少は、栄養不足のサインの1つ。あなたはのっていますか？体重計。



おすすめの食べ方

- ☆発酵食品を使って消化吸収を助ける
- ☆レトルト食品、缶詰を使って手軽に食事の準備
- ☆タンパク質の多い食品を選んで間食を楽しむ

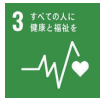


▲管理栄養士 永木繁美さん

「いつまでも食べ続けたい」のお手伝いができればと思っています。

問い合わせ 地域包括支援センター ☎0770-62-2702

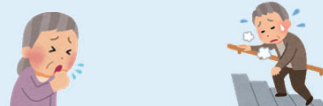
診療所だより



呼吸器専門外来のご案内

季節柄、風邪を引いている方などが増えていますが、いかがお過ごしでしょうか。上中診療所では、毎月第2・4金曜日の午前中、呼吸器専門医による、呼吸器疾患の診療を行っています。以下のような方に、受診をお勧めしています。

- 発熱、咳、痰の症状のある方
- 長引く咳、痰の症状のある方
- 気管支喘息、アレルギー疾患の方
- 作業時・運動時の息切れ、呼吸困難がある方
- 肺気腫、間質性肺炎の方
- 肺がん検診後の精密検査の必要な方
- 喫煙者



上記の症状や疾患に該当される方以外でも、一般内科で診察していますので、お気軽にお越しください。なお、他院に通院中の方は、お薬手帳を持参ください。

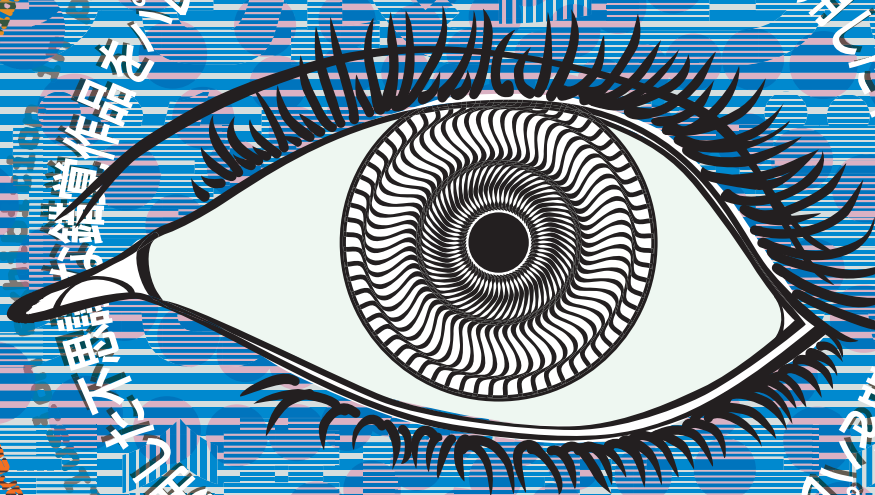


問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

錯覚展

サッカクテン

～ 錯覚の不思議な世界～



入場料
無料
パレア若狭
ギャラリー

不思議な錯覚作品をパレア若狭で体験しよう！目の錯覚を利用して不思議な錯覚作品をパレア若狭で体験しよう！目の錯覚を利用して不思議な錯覚作品をパレア若狭で体験しよう！

2024.2/23 金 - 3/10 日 9:00~20:00 火曜休館



■お問い合わせ：若狭町役場 パレア文化課 福井県三方上中郡若狭町市場 18-18
受付時間／9:00～18:00(火曜日を除く) ホームページ <https://parea-wakasa.jp/>

TEL. 0770-62-2508